



# 1年学年だより

発行日：令和5年2月28日（火）

発行者：横浜市立南高等学校附属中学校

校長：遠藤 広樹 NO. 10

## 令和4年度の有終の美を求めて

今月は南高校附属中学校12期生適性検査、南高校70期生高校入試が実施されました。南高校および附属中学校にも新しい春の足音が聞こえてきます。令和4年度の附属中学校の生活も残りひと月となりました。今年度の総仕上げをしている各学年の様子をお伝えします。

保護者の皆さま、1年間さまざまな場面でお力添えいただきありがとうございました。令和4年度も残りひと月、よろしく願いいたします。

### いざ、旅立ちのとき

3年学年主任 福田 由美

国語の授業で「旅立ちのスピーチ」に取り組みました。「自分の強み」と「どんな高校生活を送りたいか」を軸に、4月からの自分の姿を一人ひとりが考えました。そのなかで「自分の強みは、周りの良いところを自分の中に取り入れられるところ。9期生のみんながいてくれたからそんな自分になれた」と語られ、教室が温かさや誇らしさで包まれました。ふりかえれば、入学式直後に休校を余儀なくされた9期生。学校で友だちとともに過ごすことを願い、その嬉しさを実感している9期生。相手を尊重し、互いに高め合っていく心優しい集団に育ちました。

今年度は少しずつ学校行事が再開されました。初めて取り組む行事も、中学校の最高学年として後輩たちの範になりたいと準備も運営も頑張りました。京都研修旅行ではこれまでの3年間を取り返すように、笑顔がはじけていました。新たに活動をすればするほど9期生の秘めたる可能性を感じます。世の中の霧も薄らいできました。霧の奥に見える光を目指して、9期生の可能性を信じあって、いざ、旅立ちのとき！

### まずは行動してみよう

2年学年主任 朝比奈 康江

今年度は、それまでコロナ禍で縮小されていた行事が徐々に復活し、学校生活にも活気が戻ってきた気がします。イングリッシュキャンプでは、チャレンジ精神が旺盛で、とにかくやってみようというみなさんの姿勢が絶賛されました。体育祭や合唱コンクール、南高祭でも活躍の機会が増え、互いに仲間の新たな一面を見ることができたことでしょう。

みなさんの年代に「失敗」はありません。思い通りの結果が出なくても、周りに迷惑をかけてしまっても、そこには必ず「学び」や「気づき」があるはず。原因を探り、課題を解決したその先を見据えて行動していけばよいのです。

行動することを惜しまず、恐れず。やって後悔するより、何もしないで後から「あのとき～しておけばよかった」と思う方が残念なものです。まもなく附属中の最上級生になる10期生のみなさん。来年度は、今まで以上に「行動する」ことに挑戦していきましょう。

### 「今」を大切に

1年学年主任 三井 俊文

2022年は、サッカーにおける4年に1度の祭典、「ワールドカップ」がドーハで開催されました。日々繰り返される熱戦や日本代表の大躍進に心を躍らせた人も少なくないのではないのでしょうか。日本代表選手がワールドカップ初戦（初戦は強豪ドイツに2-1で劇的勝利）終了後にこんな発言をしていました。「この日、この瞬間のためだけに4年半前から準備してきた」と。目標を決めてそこに向かって努力することの大切さや、今という時間は過去の積み重ねであるということ、改めて気づかせてくれる言葉だなと思いました。

みなさんの中にもこの学校に入学するにあたって目標を決めた人も多いのではないのでしょうか。その目標を達成できた人も達成できなかった人も、そして目標を決めなかった人も、人との出会いや経験した出来事の積み重ねが今につながっていることは変わりません。11期生のみなさんにはぜひ目標を決めて、「今」というこの時間を大事にし、素敵な未来を形作ってほしいと思います。

さあみなさんは5年後、どんな自分になっていたいですか。願わくは素敵な未来が待っていますように。

# 百人一首

1月31日(火)に、恒例の百人一首大会が行われました。柔道場は熱気と興奮に包まれ、みなさんが得意とする「ちはやふる」や「うかりける」が読まれると、大きな歓声が上がリ、迫力ある対戦となりました。当日は、百人一首の読み手を、学年の先生たちで順番に読んでいきました。先生が各自の枚数を読み終わるたびに、11期のみなさんから温かい拍手が送られ、とても素敵な気持ちになりました。いつだって「人を大事にする気持ち」を忘れずに過ごしてほしいなと思います。そしてもう一方スペシャルゲストとして高校国語科の友田信一先生を読み手としてお迎えしました。友田先生は、競技カルタの読み手としての細かいいきまりをすべて本格的に修得されている方です。友田先生のおかげで、百人一首大会がいつも楽しいものとなりました。百人一首の表彰は年度末の学年集会でを行います。各クラス素敵な賞状を用意していますので、お楽しみに。企画・運営をしてくれた国語係のみなさん、ありがとうございました。



## 1組

とても楽しかったです。百人一首を通して、日本の文化の面白さに気づくことができよかったです。来年もまたあるそうなので、また企画に携われたらいいなと思いました。

## 2組

私は百人一首大会で感じたことがあります。それは、クラスの雰囲気良く、いざというときにまとまることが2組の良い所だということです。これからも、1年2組での思い出を大切にしたいと思います。

## 3組

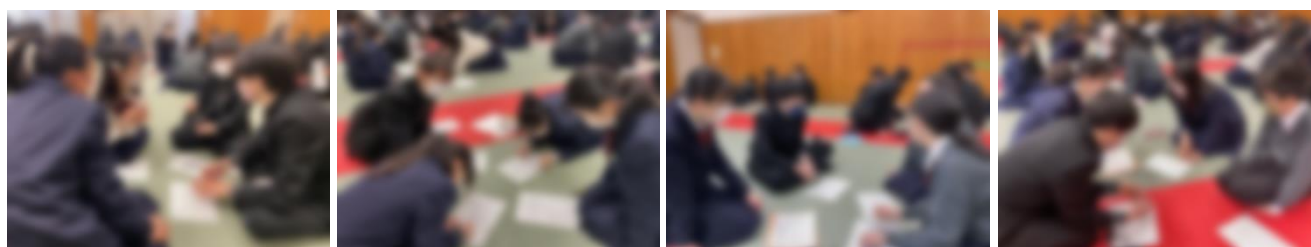
日常生活の中で関わることの少ない百人一首に大会を通して触れられた。句を覚えれば覚えるほど札を取るの楽しくなる所が魅力だと感じた。また、他クラスとの対戦や先生方の個性あふれる読みがより一層大会を盛り上げたと思う。

## 4組

今回の百人一首大会で、久々に学年全員で学び、楽しむことができよかったです。また、普段触れることのない和歌を、百人一首を通して少し身近に感じられました。1年生の思い出と2年生での楽しみが増えました。

## 構成的グループエンカウンター研修 II

2月25日(土)に立正大学の鹿嶋真弓先生をお招きして第二回構成的グループエンカウンターを行いました。「二者択一」、「よろず屋アクション」、「自己概念の修正」などの様々なアクティビティを通して、新しい自分と出会ったり、クラスを越えて交流を深めたりしました。人生はいろいろな出会いによって色濃くなっていくと思います。これからたくさんの「新しい自分」、たくさんの「人達」と出会って、成長していきましょうね。



### 1組

自分と違う選択肢を選んでいる人がいて、人によって考え方や、ポリシーが違うと改めて感じさせられた。そして、自分以外の人と話し合ったり、考え方を共有することができた。それによって、今までよりも「自分」を多角的に捉えられた。

### 2組

自分のいろいろな面が見つかり、面白かった。今回は他クラスの人とも同じグループだったので、少し緊張してしまっていたが、会話をしているうちに打ち解けられた。また、初めての人たちだったからこそ、先入観なくみることができ、本当に純粋な他人から見た自分について知ることができたと思う。

### 3組

様々な研修を通して、今まであまり話したことがなかったグループのメンバーと何気ない会話をすることができました。自分が持たれているイメージが想定外で驚きでした。普段は関わらない人のことも詳しく知れたので、また色々な人のことを知ったり、自分のイメージを聞いてみたいですね。

### 4組

今回の活動を通して、「他の人から見た自分」や「自分ではなく他の人」について深く知ることができました。活動と一緒にいったメンバーがすごくすごく楽しくて、自分らしく気軽に発言することができたのも良かったと思いました。また、「他の人から見た自分」は3人とも似たものなのに、自分が思う自分とは全く違うということもあり、面白かったです。